

滝高フロンティアサイエンス通信

海外研修特集号 [平成 27 年 8 月 17 日～24 日] 第 1 2 号

マレーシアレポート 2日目(8月18日)

この日はマレーシアに来て最初の活動日となりました。飛行機の疲れもあったと思いますが、みんなしっかりと朝起きて朝食をとっていました。

この日最初に行ったのは**キナバル公園**という場所です。キナバル公園はキナバル山のふもとにある保護を目的とした自然公園で、2000年にユネスコの世界遺産に登録されている場所でもあります。



キナバル公園ではシダ植物をはじめ、熱帯にしか生息していない植物のほか、食虫植物として有名な**ウツボカスラ**など様々な植物を見ることができました。



ウツボカスラは英語で **pitcher plant** といいますが、そのウツボカスラは大変珍しく、森林にあると持ち去られてしまうそうで、数が減っているそうです。それなので

私たちが見たウツボカスラはフェンスに守られていました。



また、私たちは世界最大の花といわれている**ラフレシア**を見てきました。ラフレシアは、つぼみから開花するまでに約5年かかるといわれていて、開花しても

1週間ほどで枯れてしまうそうです。そんな花を見ることができたのはとても運が良かったと思います。

また、ここでは**キャノピーウォーク**という吊り橋もわたりました。この橋は地上から約40メートルの高さから森林を見下ろすことができる橋で、木と木の間をロープでつるしてある吊り橋です。

吊り橋なので信じられないほど揺れました。写真を撮るのも難しく、揺れてピントがずれてしまうし、落としそうにもなります。そして何よりとても怖かったです。



キナバル公園に行った後は**温泉**に行きました。その温泉は昔、戦争中に日本軍が掘った温泉らしく、そのあとをマレーシアの人々が受け継いだそうです。温泉



といってもそこは**プール**のようなところで、訪れた人々はみんな水着をつけて入っていました。私たちは、水着を持ち合わせてなかった

ので、**足湯**につかりました。温度は熱いところ、ぬるいところ、冷たいところに分かれていましたが、熱いところに入っている外国の人は、とても少なかったです。足湯はとても気持ち良くて、いい汗をかくことができました。



屋食は山の**中華料理屋**さんに行きました。真ん中の丸いテーブルにいろいろな料理を置いて、そこから、バイキングのように取り分けていくのが中国

スタイルのようです。料理は、辛い物やすっぱいものが中心でした。**お米**は日本のとは違い、とても**パサパサ**していて、お米だけでは非常に食べづらいものでした。なので、みんなはスープなどにつけながら食べていました。

この日は一日森での活動で長い距離を歩きましたが、その分マレーシアでしか学ぶことができないことをたくさん学べたので、有意義な活動をしたと思います。

(報告者) 1F08 河端千尋